

■ 「地域計画」を策定していきます



これまで地域のみなさんが守ってきた農地を子や孫の世代に引き継いでいくためには、「今」が地域農業について話し合う大事な時です。地域の現状や課題を把握し、地域で話し合い、10年後の地域農業の設計図となる地域計画を策定します。

【地域計画で作成するもの】

- ◎地域農業の現状と課題、将来の在り方や目標を定めた計画書
 - ◎10年後の農地利用の姿を示した地図（目標地図）
- 目標地図の作成により、誰がどの農地を耕作するか、耕作できない農地はどこか等を明確にしていきます。



■ 地域計画策定に向けた「協議の場」を開催します

今後のときがわ町の農業について、みんなで話し合いましょう。
※申込不要。どなたでも参加できます。

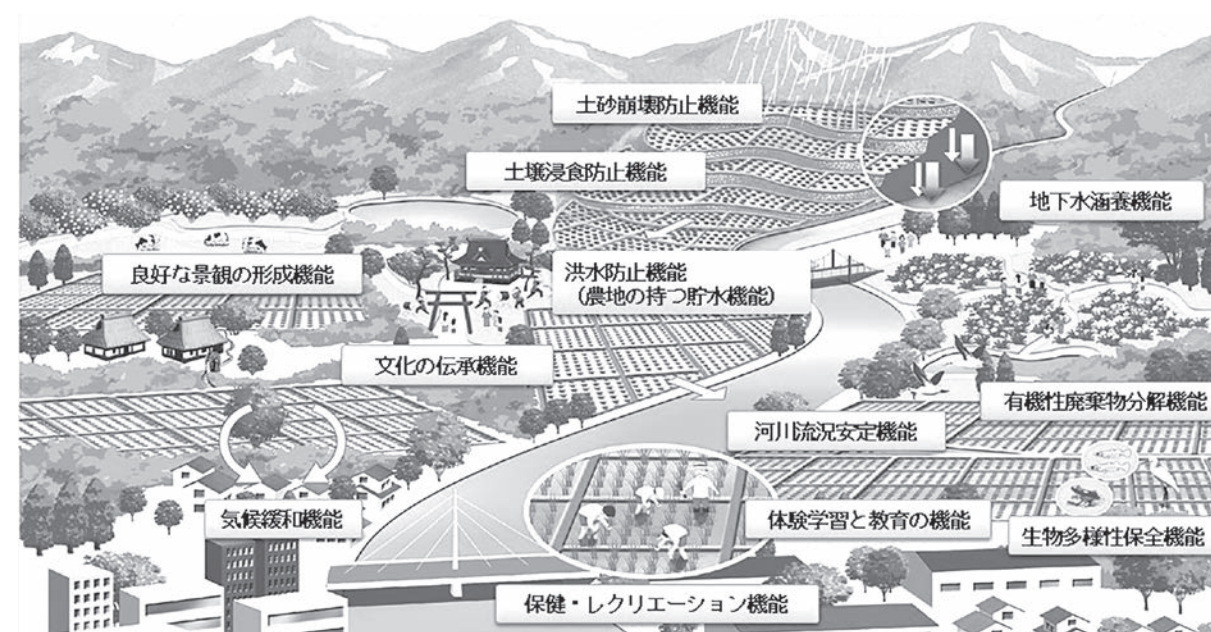


エリア	対象地区	日時	場所
平・大柵エリア	西平、雲河原、大野、柵平	9月22日(日) 13時30分～	都幾川公民館 3階講座室
五明・日影エリア	五明、日影	9月29日(日) 13時30分～	アスパアたまがわ 2階会議室
玉川・田黒エリア	玉川、田黒	10月13日(日) 13時30分～	アスパアたまがわ 2階会議室
明覚エリア	別所、本郷、番匠、馬場、関堀、田中、瀬戸元上、瀬戸元下、桃木、大附	10月27日(日) 13時30分～	都幾川公民館 3階講座室

つながる！「農」と「暮らし」



ときがわ町の魅力は、緑豊かな自然環境にあります。里山にかこまれた田畑が先人たちから受け継がれてきたことで、美しい農村的景観が保たれてきました。農地は農作物の生産の場であるだけでなく、様々な役割を担っています。

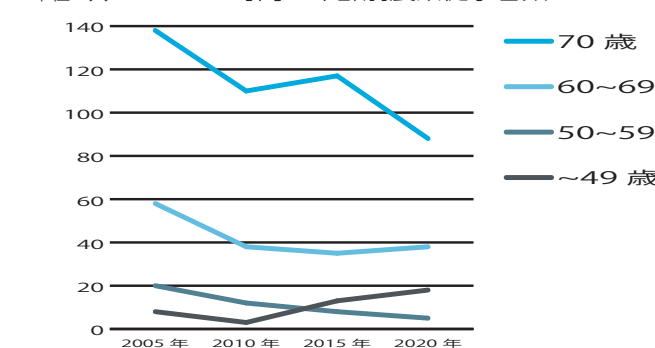


出典：農林水産省

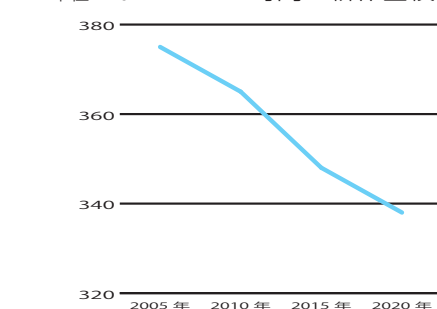
■ 減り続ける農業従事者と増え続ける遊休農地

農業従事者数をみると、70歳以上の割合が60%以上を占め、総数は年々減少し続けています（15年間で35%減少）。また、耕作面積の減少は遊休農地の増加を意味しており、今後さらに農業従事者が減少すると遊休農地が急速に増加することが予想されます。遊休農地が適正に管理されなくなると、雑草等が生い茂り、次第に雑木が生え、荒れ地となってしまいます。荒れ地が増加すると有害鳥獣やゴミの不法投棄が増加するだけでなく、見通しが悪くなることで治安の悪化や交通事故の増加など、町民の暮らしに深刻な悪影響を与えることも懸念されます。荒れ地となった農地は、耕作できる状態に復旧することが難しくなるため、遊休農地を増やさないことが大切です。戦後、私たちの食料は輸入に頼ってきましたが、経済競争力の低下や国際紛争、気候変動リスクなどに伴い、安定的に輸入し続けられるか見通せない状況です。農地を農地として維持しつづけていくことは、私たちの暮らしを守ることにつながります。

単位：人 ときがわ町内の年齢別農業従事者数



単位：ha ときがわ町内の耕作面積



15年間で
37ha 減少



出典：農林業センサス

声の広報ときがわ



「声の広報ときがわ」は、「朗読ボランティアときがわ」の皆さんの協力を得て、音声で町広報紙を聴くことができます。町ホームページ、または下記の二次元コードからアクセスが可能です。広報を発行した日から10日前後に町ホームページで配信します。そのほかに、CDでもお渡ししておりますので、お気軽にお問い合わせください。

問 総務課 自治人権担当 ☎ 65-0401



廃車引取り無料!!

事故車・不動態でも買取り出来る場合もあります!

【G.K】ガレージ KANAMORI

新車/中古車販売 車検 板金 修理 保険



車買取り
出張査定に
お伺いします!!

車のことなら何でも
お気軽にお問い合わせ下さい!!
毛呂山町毛呂本郷1364-1
TEL 049-294-5744
携帯電話 090-1690-7744